

岡崎市民病院で初めての 3T-MRIが2019年4月より稼働

当院ではこれまで1.5T-MRI装置3台が稼働し臨床各科の検査を行ってきました。臨床現場において画像診断に欠かせない診断機器の1つになっています。今回そのうちの2台のMRI装置を更新し、うち1台は3テスラ(3T)装置です。



GE社製 SIGNA Architect 3.0T

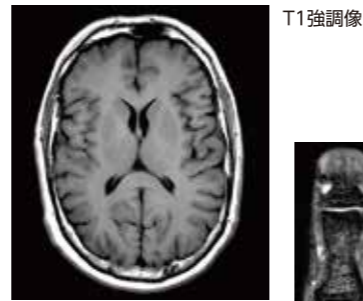
3T-MRIの特徴

3T-MRI装置と従来の1.5T-MRI装置はどのような違いがあるのでしょうか?

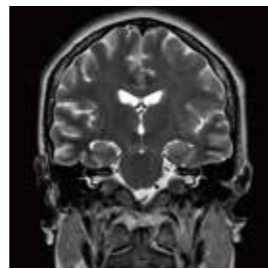
- ・静磁場強度は3Tesla(30000ガウス)と2倍の強さになります。1.5T-MRI装置と比較すると信号と雑音の比(S/N比)が2倍に改善します。これにより、高分解能画像を得ることができます。細かい解剖まで良好に描出できるようになります。これまで観察しづらかった部位や手や足などの細かな部位も良好な画像を得ることができます。
- ・撮像条件によっては検査時間も短縮できるようになります。

3T-MRIの注意点

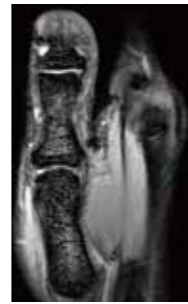
体内金属にはこれまで以上に注意が必要となります。1.5T装置では問題なしとされているものに対しても見直し・注意が必要です。安全に検査を実施するため、患者さんへ金属の確認や検査着への更衣をお願いさせていただいております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



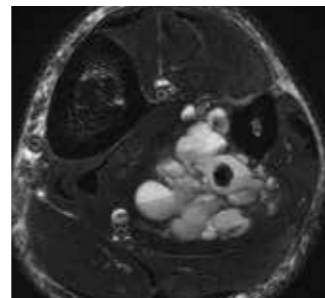
T1強調画像



T2強調画像



指の画像



3T MRI
血管腫画像

岡崎市民病院広報誌



[テーマ] 愛知病院の経営移管について

地域の医療機関の皆様には、日頃より当院へのご理解とご支援を賜り心から御礼申し上げます。

2019年4月から、愛知県がんセンター愛知病院が岡崎市に移管され、岡崎市立愛知病院となりました。これからは岡崎市が二つの病院を責任もって運営し互いに協力し合いながら、さらに充実した医療を提供してまいりますので、どうぞご期待ください。

また、当院はこれまで最先端の放射線治療機器を稼働させるなど先進的医療に積極的でしたが、本年度はPET-CTを稼働させる予定であり、いっそう高度で良質な医療を提供できる環境を整えてまいります。

引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

岡崎市民病院 院長 早川 文雄

この広報誌に関するご意見・ご要望はFAXにて地域医療連携室にお寄せください

岡崎市民病院地域医療連携室 TEL 0564-66-7262 FAX 0564-25-6720

●平日/8:30~17:00 ●土曜日/9:00~13:00 ※但し、祝日・12/29~1/3はお休みさせていただいております。※業務時間外は留守番電話になります。

より充実した地域医療につなげるため

愛知県がんセンター愛知病院の岡崎市への経営移管を受け、2019年4月1日より、岡崎市立愛知病院として運営がスタートしました。

この地域は、2040年まで65歳以上人口の増加率が県全体と比べて著しく高く、今後も医療需要の増大が見込まれます。同時に、慢性的な疾病や複数の疾患を抱える患者さんが増加すると考えられます。

岡崎市立愛知病院は、岡崎市民病院で急性期の医療を受けたのち、肺炎、脱水、熱中症などの状態が落ち着いてきてはいるものの、在宅や施設に向けての退院や民間病院への転院が困難な状態の患者さんを受け入れる、急性期の中でも軽度な急性期医療を担う病院として生まれ変わり、地域住民のみなさんへ安全で安心な医療を提供してまいります。

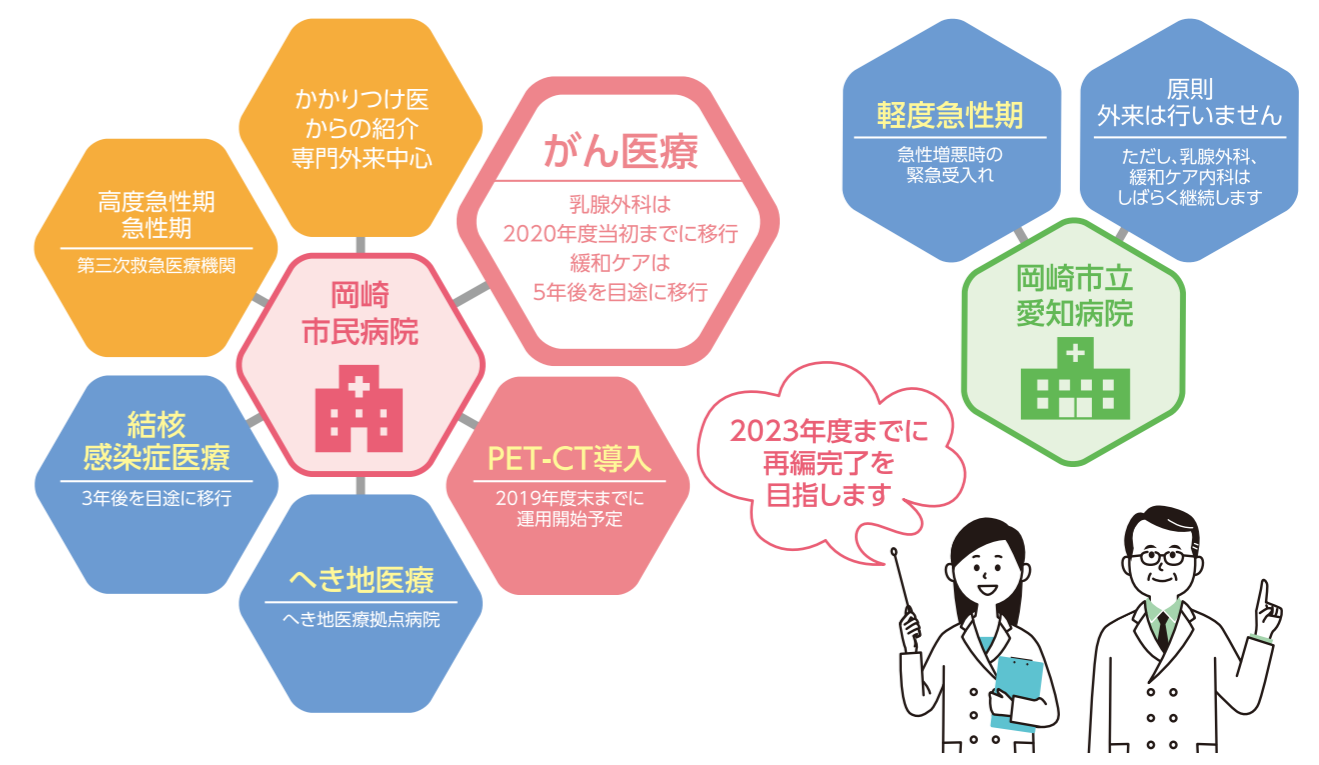
当面は、乳腺外科の外来診療、緩和ケア医療、結核・特殊感染症医療も担ってまいります。

私たち岡崎市立愛知病院の職員一同は、多くの患者さんに良質な医療を提供し、地域の医療機関との連携を密にして、地域住民のみなさんが住み慣れたこの地域で暮らし続けられるよう貢献してまいります。



岡崎市立愛知病院 院長 **市橋卓司**

2019年4月1日から岡崎市による「運営一体化」



市民病院・愛知病院にご紹介いただく際の窓口を、市民病院に一本化させていただいております。
 ご紹介後は、予約先病院および予約日時を当方で調整します。

お問い合わせ先 **岡崎市民病院 地域医療連携室**
 ●平 日 / 8:30~17:00 ●土曜日 / 9:00~13:00 **TEL 0564-66-7262** **FAX 0564-25-6720**

●なお、医師会ホームページの受診依頼票は最新版になっておりますので、是非ご活用下さい。

患者さんに好評の乳腺サロンも継続します

乳腺外科 新任医師
 村田 透 (むらた とおる)

今回の経営移管にあたり、乳腺外科が新設され、旧・県がんセンター愛知病院の乳腺科医師が診療を担当します。旧愛知病院乳腺科では乳がんに関するあらゆる標準治療を行ってまいりましたが、三河地域唯一の遺伝性乳がんに対するカウンセリング・遺伝学的検査は移管後も引き続き行います。また、患者さんに好評の乳腺サロンも継続します。

なお、2019年度は、乳腺外来は岡崎市立愛知病院、手術は岡崎市民病院で行い、2020年度からは乳腺外科全ての診療が岡崎市民病院に集約される予定です。

ご紹介いただく垣根をできるだけ低くするように心掛けます

腫瘍整形外科 新任医師
 山田 健志 (やまだ けんじ)

岡崎市民病院に診療科として「腫瘍整形外科」を新設し、山田健志と細野幸三が赴任いたしました。腫瘍整形外科を標榜する医療機関は全国的にも少なく、診療科を立ち上げる責任を感じています。

診療内容としては、良悪性を問わず骨・軟部腫瘍全般の診断と治療を担当いたします。

ご紹介いただく垣根をできるだけ低くするように心掛けますので、「こぶ」や「何らかの骨病変」でお困りの患者さんに関しては、症状の軽重を問わずお気軽に腫瘍整形外科へご紹介下さい。

一致団結してチームとしてさらなるサービス技術の向上に努めてまいります

呼吸器内科 新任医師
 奥野 元保 (おくの もとやす)

経営移管により、愛知病院より2019年1月に近藤千晶、4月に奥野元保、犬飼朗博、腫瘍内科の浅井暁が岡崎市民病院の一員に加わり、岡崎市民病院の肺がん診療の充実に向けて努めてまいります。

さらには医師以外の部門の職員も加わりますので、呼吸器内科以外の診療科や他部門の職員と一致団結してチームとして岡崎市民病院の肺がん診療を維持継続し、さらなるサービス技術の向上に努めてまいります。肺がん以外の呼吸器内科診療も引き続き維持していきます。

地域の方々の信頼を得られるように頑張っていきたいと思っております

呼吸器外科 新任医師
 岡川 武日児 (おがわ たけひこ)

愛知病院の経営移管に伴い2019年4月から呼吸器外科は常勤医4名体制となりました。近隣の呼吸器外科を標榜している病院と比べても多くのスタッフで診療ができるようになり、外傷や気胸など緊急の対応も余裕をもって診療ができます。また肺がんや胸腺腫に対しても胸腔鏡手術を行っており、2018年度は90%以上の手術を胸腔鏡で行っています。

手術枠も週あたり1件の増加となり、手術待機までの時間を短くできると思われま。これらの枠をフルに活用できるよう、また地域の方々の信頼を得られるように頑張っていきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。